

企画展

# みぞくわの美

館蔵書跡名品展



平成20年8月3日(日)——9月7日(日)

●開館時間＝9時～17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館

●入館料＝一般300円 高校生200円 小・中学生無料 友の会会員無料

障害者手帳提示の方・付添者・引率者無料 団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引

●主催＝財団法人林原美術館 ●後援＝山陽新聞社・岡山県書道連盟

●ギャラリートーク＝毎週土曜日 14時から

林原美術館  
TEL(086)223-1733  
http://www.hayashibara-museumofart.jp

〒700-08823 国山市丸の内2-17-15

# みずくきの品展

館蔵書跡名品

書は東洋が誇る紙と墨と筆による芸術です。それを古来、日本人は“みづくき”といいならわしてきました。瑞々しい草木の伸びやかな姿を筆の跡に見立てたのでしょうか。そして日本人は書跡の美を愛し、たくさんの名品を残してきました。

今回の展覧会では、当館の所蔵する“みづくき”的跡うるわしい名品を一堂に展示します。まず、書を愛する立場で古今の名筆を貼り交ぜに仕立てた古筆の手鑑をはじめ、宸筆（天皇の書跡）、公家、武家、僧侶、文人など、身分は異なりますが歴史を彩ったさまざまな人物の書を展示します。

書は、書かれた文字の難しさや墨一色で構成されていることから、他の分野と比べると地味なイメージがあることも事実です。しかし「墨は五彩を兼ねる」といわれるよう、筆の運び方による墨の濃淡やかすれ具合など、表現力豊かな芸術です。作者の人物像を思い描くとともに、これらの書の美に注目し、本展を通じて、書の持つ魅力的な世界に触れていただければと思います。



重要美術品 古筆手鑑『世々の友』(天平時代～江戸時代)



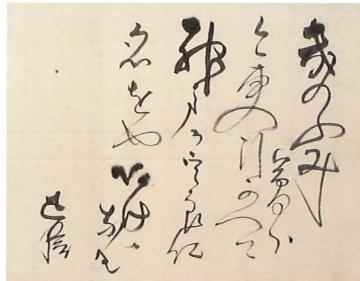
白隱自画贊 芭蕉図 江戸時代



重要美術品 後奈良天皇宸翰懐紙 室町時代



伊達政宗書状(松新太宛) 江戸時代



瀧善三郎辞世歌 江戸時代

## 林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市丸の内2-7-15 TEL (086)223-1733 FAX (086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

\*車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分／路面電車[東山行]県庁通下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前行・四御神行]県庁前下車徒歩3分



### 次回予告

企画展「源氏物語の世界」

平成20年9月14日(日)～10月19日(日)

日本が誇る『源氏物語』が紫式部によって記されてから、今年でちょうど1,000年を迎えます。日本の文化に多大な影響を与えた『源氏物語』を、近世に制作された絵画や書跡を中心に、館蔵品からふりかえります。